

2018年度の事業報告書  
2018年5月1日から2019年4月30日まで

特定非営利活動法人ratik

1 事業の成果

学術専門書の電子出版事業については、原著者・原著出版社との交渉を経て、「ratikで最初の翻訳書籍」1点を発行し、EPUB版・PDF版での無料公開を始めました（2019年3月）。無料公開が実現したのは、翻訳者グループからの出版助成が得られたためであり、今後とも多様な出版の形を模索していきたいと考えています。このほか1点の翻訳権交渉を成立させ、翻訳者グループと企画・制作を進めています。

また、今期は「授業内容に合った安価な教材を学生に提供する」というコンセプトのもと、2019年春からの大学講義用の印刷媒体のテキストを著者と共同で制作し、既に使用が始まっています。直取引に応じてくださった大学生協に販売を委託する形で、2019年4月末現在で450冊近くの実売を記録しています（代金の支払はratik2019年度）。

今期は2点の新刊発行となりましたが、2018年度中の取り組みにより、早々に発行可能なレベルにまで仕上がってきている企画が2点あり、その公開が楽しみです。

また、これまでratikの電子出版は、EPUB版・PDF版のファイルを中心に行ってきましたが、動画、図版、Q&A（クイズ形式）、ネット上の参考資料へのリンク、読者によるコメント+著者によるリプライ機能などを多様・豊富に包含させたwebページによる知識・情報の伝達を模索しています。現在、そのパイロット版ともいべき企画に著者とともに取り組んでいるところです。

販売面については、今期は、既刊を含め16点（うち2点は無料公開）の発行を継続し、年間総販売冊数（有償分）は88冊になっています。また今期は、2018年夏に京都で開催された日本行動分析学会大会会場に展示販売ブースを出すなど、活動PRを行ったことなどもあり、印刷・製本版書籍35冊を販売しています。

ratikで編集事務局を務める日本マインドフルネス学会の査読付き機関誌・電子ジャーナル「マインドフルネス研究」では、一昨年度から着手していた「マインドフルネス認知療法」を主題にした特集号（第2巻 第2号）を発行した（2018年7月）のに加え、2018年12月に定例号となる第3巻 第1号を発行しました。

同様に企画・編集・制作・公開を担当している〈身〉の医療研究会の機関紙「〈身〉の医療」については、第4号を完成させ、ratikのwebサイトでの公開を始めています（2018年7月）。

なお、今期は2018年12月に開催された日本マインドフルネス学会 第5回大会において、大会事務局の一端を担い、一般研究（ポスター）発表の査読進行、大会プログラム・抄録集の制作などの業務を実施しました。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に関わる事業

主に人文・社会科学系の諸学問や、学問に根ざす各種実践に係る専門図書の新刊を電子書籍等として企画・編集・制作・販売する事業

事業内容	具体的な事業項目	(A)実施日 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)受益対象者の人数	事業費の金額 (単位：円)
電子書籍の企画	既存文献等の探索	(A) 不特定 新刊2点の発行、 計16点の書籍の販売。 うち6点については印刷・製本の オプションサービスを実施。	(D) 著者ならびに読者 研究者・実践家を 中心に広く市民一般	1,079,513
	学会、研究会等の聴講			
	執筆者候補とのやり取り 編集会議			
電子書籍の編集・制作	編集・校正作業	著者と新刊を企画・制作中。	(E) 不特定多数 年間の書籍売上部数は 電子版88冊 印刷・製本版35冊	
	電子書籍ファイルの制作			
電子書籍の販売	販売システムの構築、改良	講義用教科書を制作、 2019年春からの販売。	教科書が使われている 講義の受講者約600名	
	販売システムの運用			
	広告・宣伝活動			
		(B) アウトプットの電子書籍は、 ratikの法人web サイト上で販売 <a href="https://ratik.org">https://ratik.org</a>		
		(C) 2人		

上記の出版事業や、学術・実践の発展、ひいては豊かな市民社会の形成に資する情報を  
 収集・整理・発信する事業

事業内容	具体的な事業項目	(A)実施日 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)受益対象者の人数	事業費の金額 (単位：円)
情報の収集	既存文献等の探索	(A)不特定 学会・研究会の査読付機関紙等 (電子ジャーナル) 発行に伴う 編集事務局業務の継続、 2018年7月、12月には、 当該年度号を発行。  マインドフルネス学会第5回大会 の大会事務局業務を実施 (2018年11月～)。  (B)成果物の一部は、 ratikの法人web サイト <a href="https://ratik.org">https://ratik.org</a> あるいは 学会・研究会webサイト等 <a href="https://mindfulness.jp.net/">https://mindfulness.jp.net/</a> <a href="http://minoiryu.org/index.htm">http://minoiryu.org/index.htm</a> にて公開されている。  (C) 2人	(D) 研究者・実践家を 中心に広く市民一般  (E) 不特定多数 マインドフルネス学会 第5回大会の参加者は 200名強	178,701
	学会、研究会等の聴講			
	研究者・実践家とのやり取り			
情報の整理	情報の体系化や重みづけ			
情報の発信	自社webサイト等での 情報発信 サイトの管理、更新			